



COOP JOSO News Letter

常総生活協同組合
発行 / 生協広報G

【ものづくり・人づくり・地域づくり】2017 総代会特集 (2)

鈴木牧場の鈴木 昇さんから**サプライズ**発表!!

鈴木牧場の20年間の想い、組合員の想いが形に!!

牛乳作り **スタート**します。



2018 年度の商品化に向けて**常総生協「牛乳プロジェクト」を発足**します。



みんなで牛乳作りに
関わろう♪

7 月から各地区へ総代会の報告を兼ねた地区懇談会を開催致します。その際、鈴木さんの牛乳と市販の牛乳の飲み比べを行います。商品化していく牛乳は、どういう牛乳が良いのか。みんなで検討していきましょう!! 地区懇談会を経て正式なプロジェクトを立ち上げていきます。

【2017年7月の予定】

●生協基幹運営／地域活動・催し●

【定期開催の催事】

- 毎週木曜日につくば桜運動公園ゴントの丘にて地域コミュニティ活動中。
- 毎月第3火曜日にゆるカフェ開催。
- 毎月第一土曜日にじょうそう朝市を開催しています。
- 7/1 (土) 援農活動 (宇治田農園、土れ味農園)
- 7/4 (火) 「私たちのくらしと憲法」市民公開講座⑭山本先生
- 7/8 (土) 稲葉先生の料理講習会 (本部)
援農活動 (清水農園、微生物農法の会)
- 7.22 (土) 「歴史を学ぼう」市民公開講座⑭都留先生
こどもアートフェスタ (取手西口駐車場ビル)
- 7/26 (水) 2017 年度第2回理事会
- 7/29 (土) キムチ講習会 (けやきプラザ調理室)

●提携・協同・連帯企画●

- 7.1 (土) ネットワーク21 組織担当者会議
- 7.8 (土) 甲状腺検診 (益子)、稲葉先生の料理講習会
- 7.12 (水) 茨城有機農研の集い
- 7.13 (木) 茨城訴訟団会議
- 7.14 (金) ネットワーク21 総会 (あいコープみやぎ)
- 7/20 (木) 東海第二第18回弁論
- 7/21 (金) ネットワーク21 商品担当者会議
- 7/28、29 (金-土) ネットワーク21 専務会議
- 7/29 (土) 甲状腺検診 (川崎)

総代会特別報告（鈴木牧場 鈴木昇さん）

ヨーグルト、チーズをいつもご利用いただきありがとうございます。

生協へヨーグルトの取り組みを始めて13年たちました。酪農家で加工をやっているのは私しかいません。

消費者とつながってやってこれたことが、今日に至ったと思っております。今日は重大な発表があつてこの場を借りて発表させていただきます。皆さんは何か？と思っていらっしゃると思いますが、私と常総生協が生協とつながって18年です。その18年の想いが実現します「牛乳です」。



鈴木牧場
鈴木 昇さん

ずっと前には他の生協とつながっていた事もあり、18年前に常総生協を知った当時は、常総生協と言っても他の生協と一緒にだろと思っていました。しかし、当時の大石さん、丸山さんが一緒に熊谷先生と酪農を学んだり、「牛の健康とはどういう事なのか一緒に学ばせてくれ」と言って実際に北海道の酪農の現場を組合員さんと見に行ってくれた事がありました。「こんな生協があるのか～」と痛烈に感じました。そんな経緯があります。その当時から生協から「牛乳をやってくれ」と言われていました。しかし牛乳には色々なリスクがあります。賞味期限や、利益率の低さ、小規模牧場で採算が取れるか等様々です。「加工品でも良いから鈴木さんの原乳を頂きたい」という提案からヨーグルトからスタートしました。

土づくりから牛を健康に育てるという取り組みをしてきた事で今があると思います。経営も安定してきました。また息子夫婦が本格的に現場に入りました。お嫁さんの実家も酪農をやっている事もあり、3年前から牛の作業と、加工に入ってもらっています。そうして後を継ぐという意思表示が息子夫婦からあり、1年前から息子も現場に入りました。私たちの代で終わりだろうと考えていたこともあり、とても嬉しかったです。将来も見えてきました。この時は、「お嫁さんの力はほんとにすごいな～」と本気で思いました。

それでも、牛乳の話は一向に出てきませんでした。しかし、お嫁さんがさけるチーズ講習会を各会場で開催してきたことで、消費者の皆さんの心に響いて、リピーターが増えました。そうした事もあり牧場にも会場を作ろうという話になり、私の方から「それならば牛乳も作ろう」という提案をしたところ、牛乳プラントの建設に家族も賛成を頂きました。

いの一番に生協とつながり始めた頃からお世話になった糟谷さん、大石さんへ「やっと、やっと牛乳ができます。」とお伝えしました。そのあと今週（6/7 水曜日）に生協の常任理事に伝えました。



来年の総代会には披露できるようにしていきたいと思います。1年かけて組合員の皆さんと協議しながら、生協と一緒に取り組んでいきたいと思いますので、是非ご協力宜しくお願い致します。

総代会特集（来賓あいさつ）



茨城県生活協同組合連合会
会長理事
佐藤 洋一さん

おはようございます。県生協連の佐藤でございます。

常総生協のみなさまには、日頃より県生協連の活動にご支援ご協力を頂いておりまして、心から感謝を申し上げます

木内常務は県生協連の理事でもあるので、2ヶ月に一度、県生協連の理事会にて常総生協の活動報告をして頂いております。昨年は、岩手県岩泉町で災害があった際に、木内理事からの「ボランティアバスを出そう！」という提案を受け、生協の仲間はもちろん、JA や茨城大学の学生も含めて参加しました。

協同組合はユネスコの無形文化遺産に登録されました。和食と同じ土俵にあります。「地域でのさまざまな課題解決のために、人と人とのつながる力を持って解決にあたる。そういう組織はすごい組織なんだ。」という事だと思います。

私たちにとって2017年の最大の課題は、東海第二原発の再稼働問題だと思います。2011年に「絶対に安全はない。安全なことは絶対にない！」ということを学んだはずですが、これからさらに20年、負担と背中合わせで暮らすのは止めたいと思います。協同組合の理念と実践がまさに出番の時です。皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと思います。



あいコープふくしま
理事長
佐藤 孝之さん

あいコープふくしまの佐藤です。総代会の開催、おめでとうございます。

この間、3.11の原発以降、常総生協の皆様には大変お世話になりました。ようやく供給高も僅かながら3.11前と並ぶことができました。

しかし、被害についてはマスコミなどによって「復興だ」と様々に報道されておりますが、現実には矛盾が進行しています。

確かに規模は小さくなりました、しかしその深さは非常に人々の心をえぐっています。2017年3月31日に帰還困難区域以外の避難指示区域が解除された浪江町には、もともと21,000名の住民がいたが、戻ったのはたったの200名です。みんな戻れないのです。この6年間で家庭と心がズタズタにされているのです。

当会の組合員も2名仮設住宅にいました。約40年お互い教員生活をし、50年以上連れ添っ

た80歳近いご夫婦です。長い間勤め上げ、「これでようやく二人の老後の時間を楽しめるね」となった時に原発事故が起き、十数か所を転々とし、本宮市の仮設に入り、去年の末に復興住宅に入り、そこでいよいよ帰宅の問題が出ました。「浪江に戻るか戻らないのか」ずっと二人で議論を重ねた末、破綻してしまいました。去年のあいコープまつりにも来られませんでした。現在は連絡が取れておりません。

原発の被害はまだまだ続くわけです。生協の復興の数字は確かに上がりましたが、今でも3.11の話をするとうるせうが出る方が圧倒的です。我々は、「この傷は癒えていない」ということを訴え続け、このようなことを自分たちの子ども、孫、未来に向かって二度と繰り返してはいけないと思います。放射能という問題のせいで、これまで培ってきた生協生活、いわば健康が一挙に破壊されてしまいました。原発に限らず核兵器の問題、戦争の問題はこの社会＝人類とは共存しないということを改めて声を大にして訴えなければならないと思います。今後ともよろしくお願いします。



日本有機農業研究会
副理事長
魚住 道朗さん

魚住と申します。大石さんから、「第二原発の相澤さんのメッセージも魚住さんから伝えてほしい」と言われているので、まずは東海第二原発訴訟のことからご報告したいと思います。

2011年の秋、私が韓国に行っている際に、「常総生協が東海第二原発の再稼働を止める訴訟をする決意をした」という記事を新聞で読みました。いい生協だな、私が参加している生協で良かったな、と思いました。生協として（こういった問題に）しっかり取り組むことが、どれほど重要かという事をその時学びました。大変嬉しく思って、私も訴訟団の一人、世話人の一人として大石さんや相澤さんとともに取り組んでいるところです。

日本原電は再稼働に向けた準備を進めています。裁判は来年の1月ぐらいまでに法廷での弁論を大体終えて、こちらから証人を立てて証人尋問をして、その後結審になります。結審をした後に、裁判所では1年から1年半かけて3人の裁判官で協議を重ね判決を決めるそうです。ですから、（結果は）早くても2019年から2020年になってしまう（と思います）。

法廷は、一年間に3回から4回（3ヶ月から4か月おきに）しか開かれません。もうしばらくかかりそうです。ですので、改めて我々の決意を固めなければいけないと思います。

まだまだ戦いは続きます。彼らによって汚染された台地、これは子々孫々に続く問題なので、我々は決して諦めないという事を誓いたいと思います。

それから、議案書に「スマホを捨て野良に出よ」などと偉そうに書いてしまいました。先日の日本農業新聞に、「No Rain, No Rainbow」という記事がありました。直訳すれば、「雨が降らなければ虹は出ないよ」という意味だと思います。偶然にも頭文字をとると、野良野良（NoRaNoRa）になるので、私が云いたいことを別の誰かも云っているなと思っていたら、もう少し違う内容の記事でした。「いろんな困難があっても必ずその先には良いことがある」というような内容でした。生協は虹を一つのシンボルマークにしている。最近は入梅したのに雨がほとんど降っていません。雨を降らすこと

は、人為的にはなかなか難しいことです。しかし、我々は汗をかけば水分が出てきます。そして、その取り組みをしていれば、感動の涙が出てくるのです。それは、現在、生産者と消費者が分断されている状況ですが、生協が大地を守る活動に取り組んでいってくれば、私の思いは伝わるかなと思うのです。

昨年、黒田洋一郎さんの講演会を生協で行いました。子どものいのちが相当歪んできています。大人のいのちも然りです。それは、我々が戦後、農業の近代化によって農薬をたっぷり使い、今日まで使い続けている結果が子どもたちの脳を侵しているのです。若いお母さん方や男性種子の不妊の原因にもなっているし、当然癌も増えています。この状況を早く変えなければいけないと思い、伊藤専務や柳町理事長にも迫りました。有機農業、農薬を使わない農業をみんなでやるしか我々に残された道はないのです。ここ（議案書）での「スマホ」とは、「注文用紙に数字を書いたり、インターネットでクリックして物を注文するだけの消費者」という意味です。生産者と一緒に汗を流し、現場に足を運び、放射能に汚染された台地、農薬に汚染された台地を生産者だけに任せるのではなく、生協として組合員としてしっかりそこに足を付けて種を蒔いて次世代の子どもたちのいのちを守っていこうという事です。

私事ですが、日本有機農業研究会の仕事として、今年の春からまた足立区の農業公園の仕事に任されました。5年間有機農業をやる事が決まっています。私が行く理由は、都市と農村を結ぶためです。いま、都市は心も大地も干上がっています。そこに、農業の大事さを、有機農業の素晴らしさを伝えたいのです。そこに虹がかかるかどうかはわからないけれど、かけたいと思っています。常総生協では、このような取り組みをぜひ日常的に展開してほしいと思います。そんな汗だくの生協には必ず虹が出ると思っています。

最後に、常総生協が印刷出版元となって、一緒に『アイデア農具集』という三部構成の本を作りました。どなたでも、件の生産者に負けないくらい、簡単に生産レベルを上げられる道具が書いてあります。収益は全て組合員の活動費になりますので、ぜひお手に取っていただきたいと思います。よろしくお願いします。

今年も
やります!!

2017 サマーキャンプのお知らせ

自然の中でのびのびと、心とからだをたくましくしよう! 2017 夏休み 8/8 (火) ~ 8/11 (金)

こどもサマーキャンプ in 能勢農場参加のご案内

能勢農場の林間学校は関西を中心に毎年沢山の子ども達を招いて行います自然の中で、初めて会ったメンバー同士が助け合いながら、いろんな作業を行います。参加した子ども達に自主性と協調性を学んで帰ってもらいたいと思っています。

■参加資格

小学生 (1 年 ~ 6 年)

※保護者の付添参加はできません。

※現場では生協職員、キャンプ OB・OG のリーダーがお世話します。

■集合・解散

●集合解散場所: 常総生協本部

※生協本部 (または守谷駅) に集合し、生協職員引率のもと新幹線、在来線で能勢農場の最寄り駅 (大阪阪急能勢電鉄・日生中央駅) まで皆で行きます。

※詳細は、参加者ミーティングでお伝えします。

■参加費用

1 人 15,000 円 (往復交通費、保険代含む) ※農場ではお金を使うがありません。お小遣い、おやつは不要です。

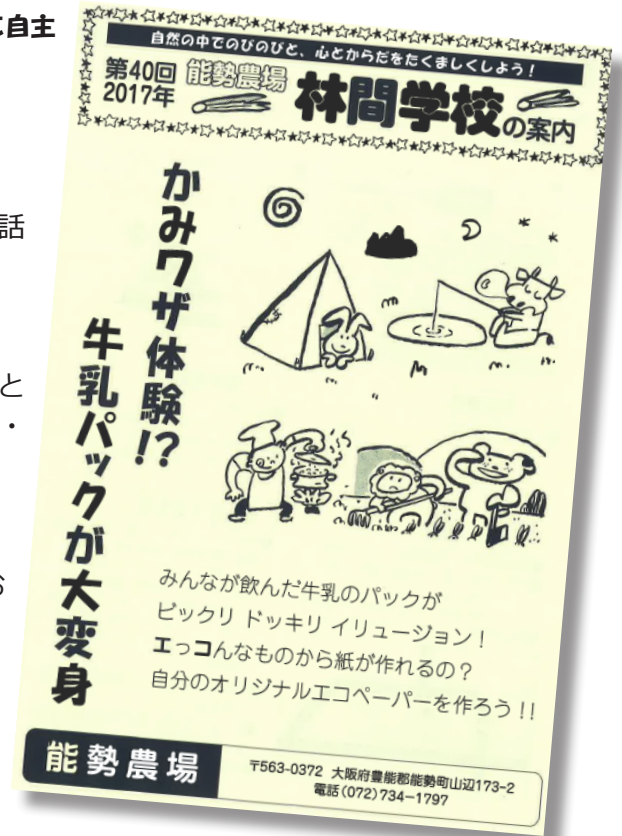
■持ち物

※参加者に別途お知らせします

■開催日

8/8 (火) ~ 8/11 (金)

※生協から担当職員が引率します。



林間学校の生活

- 朝早く起きて、新鮮な空気をいっぱいすって朝メシ前に一仕事。
- テレビラジオもないから、皆でワイワイおしゃべりしながら、腹いっぱい朝ごはん。新鮮な生みたて玉子と取れたて野菜でサラダもおいしい。
- いろんな種類の動物 (牛、ポニー、豚、羊、山羊など) の世話をして、いろんな動物と仲良くなろう。
- ドロろんになってあそぼう。カエルやめずらしい虫たちに出会えるかも。
- 川あそび、キャンプファイヤーで、年令や性格、学校のちがった友達と一緒に遊んで、どんどん友達の輪を作ろう。
- テントのすき間から、星がいっぱい輝く夜、土の上に寝て、自然と一緒に呼吸してみるのだ。

林間学校 (第1期~第4期) スケジュール

	朝6時	午前	午後	夜9時
1日目	集合・出発 日生中央駅	オリエンテーション テント設置	自然観察 夕食	自由時間 テント泊
2日目	起床 ラジオ体操	朝食 テーマ 自由時間	エサやり 自由時間	自由時間 夕食 テント泊
3日目	起床 ラジオ体操	朝食 エサやり	川遊び 自然観察 夕食	自由時間 キャンプファイヤー 夕食 テント泊
4日目	起床 ラジオ体操	朝食 テント片付け	朝食 感想文 昼食	自由時間 解散 日生中央駅

■申し込み

・7/7 (金) まで

・参加募集の用紙 (次のページにあります) を、配達時に担当まで渡してください

・WEB (WEB 版の応募ページ) での申し込み。
※ホームページ、Facebook に UP されています。

・電話 (FAX 可) で生協本部までご連絡ください。各学年 1 人ずつ計 6 人が生協で参加できる人数になります。

■抽選日

・7/12 (水) までに抽選し、応募された方全員にお電話します。

■参加者ミーティング (顔合わせ会)

・7/21 (金) 10:00 ~ 12:00 まで
(生協本部 2 階組合員活動室)。

・日程、持ち物、注意事項等をご説明します。
・親子でご参加ください。

■お問い合わせ

常総生協本部 0297-48-4911

※裏面に申し込み用紙が掲載されています。

サマーキャンプ参加申し込み書※ 7/7 (金) 締切

■コース名 _____ ■班名 _____

■組合員番号 _____ ■組合員氏名 _____

■お子さんのお名前 _____

■お子さんの生年月日 西暦 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

■性別 男 ・ 女

■参加時の年齢 _____ 才 ■学年 _____ 年生

■アレルギー 有 ・ 無
(有の場合は詳しい内容を書いて添付してください)

※ WEB からでも申し込み
ます。下記の QR コードか
ら応募フォームへ飛びます。



戸別営業時の駐車協力のお願い

常総生協では組合員拡大するために、1 件 1 件訪問して生協をご案内する戸別営業をしています。ここ 1 ヶ月で 4 件の戸別営業担当者の車が駐車禁止の切符を切られる事態が起きています。取り締まりが厳しくなっています。なるべくパーキングを利用するようにしていますが、訪問先は住宅地が主なため、中々パーキングが見つからないのが現状です。組合員拡大のためには戸別訪問をしないわけにはいきません。

そこで、組合員の皆様にもご協力を頂きたい所存です。今後、組合員の皆様のお近くを回る際に、「駐車場を貸してもいいよ」という方を募集しています。

平日 10:00-15:00 の間で貸していただける方いましたら、下記の登録記入欄もしくは URL か QR コードへ登録お願い致します。供給担当や、意見欄での伝達でも構いません。宜しくお願い致します。

▼登録 URL ▼

<https://goo.gl/forms/12z4GagJhdImZJ1t2>



今後、お近くを回る際に事前に駐車をお願いをさせていただきたいと思います。
組合員拡大のために何卒、ご協力宜しくお願い致します。

戸別営業時に駐車協力します。

お名前 _____ 組合員番号 _____

ご連絡のつきやすい電話もしくはメールアドレス _____